

# 令和4年（2022年）度事業報告書

特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

## I 事業期間

自：令和4年（2022年）4月1日～至：令和5年（2023年）3月31日迄

## II 事業の成果

前年度に引き続き、地震科学における「オープンサイエンス」活動を進め、幅広い人々が学ぶ機会を設けて地域の地震防災・減災社会の構築に取り組み、同時に地域の人々との交流も図ることができた。また、一般見学会や防災講演会などを通して地域住民の方々に地震に関する知識・関心を持っていただくことに寄与できた。

小学生対象の夏休み企画として「ペットボトル地震計講座」では、ペットボトルを使って簡易な地震計を作って地震計の仕組みなどを学び、多くの子どもたちに地震科学への興味を持ってもらうことができた。

前年度から当法人主催でスタートした講演会シリーズ「新まんてんてらこや」を、対面講義とオンライン講義といった初の「ハイブリッド方式」で開催した。内陸地震を引き起こす活断層について、最新の知見や長期評価の内容などを提供し、参加された市民の方々に地震や防災・減災に関心を持ってもらうことができた。

また新たに大阪市内の一般社団法人主催のセミナーに協力してオンライン講座を開催し、出前講座で講演している地震防災の講義に、新たに障がい者や高齢者を対象とした災害時要配慮者の防災対策を加え、多くの介護施設などにも聴講してもらえた。

さらに新たな取り組みとして桜島火山観測所（鹿児島）のアウトリーチ活動を支援する試みで、当該観測所に所属する「ハルタ山観測所」を新たな桜島の観光資源に加えるべく、紹介セミナーやツアーの企画、コンテンツ開発の委託を有償で請負った。桜島観測所の視察やヒアリング後、現地ガイドを勤める桜島ジオサルクとの協力体制を確立し、納期内に観測所ツアー用コンテンツを製作して納品することができた。

阿武山観測所及び当法人を紹介した冊子「阿武山観測所ガイドブック」は、第1版第1刷を完売し第2刷の印刷、販売までに至り収益に大変貢献した。

また「写真コンテスト」は第2回を開催し前回同様多くの力作が応募された。今回は審査員に日本風景写真協会京都支部長の先生にも加わっていただき、先生からは幅広い分野の写真で、レベルの高い作品が多いとの講評をいただいた。

さらに京大ウィークスの催しの一環として新たに「アマチュア無線局」を開局し、アマチュア無線の楽しさや防災に役立つ仕組みを多くの市民に体験してもらった。

観測所敷地内の環境保全では、前年度に引き続き阿武山グリーンクラブが広大な敷地内の樹木伐採や草刈り、植栽など自然環境・景観保持など訪問者や近隣住民の方々の安全かつ快適な環境作りにも努めた。

### Ⅲ 事業の実施状況

#### 1 特定非営利活動に係る事業

##### (1) (事業名) 一般見学会

(内 容) 地震学の歴史講座と歴代地震計や地震・防災に関する各種展示のツアーガイド、屋上展望案内を行った。また大阪平野地下の活断層の状況をCG化したビデオを放映した。

ミニプログラムは日替わりで、阿武山古墳、阿武山観測所の建築、構内の自然観察ツアーに、新たに防災クイズを加えて実施した。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 毎月第2土曜日/第3日曜日 開催合計44回(昨年度は38回)

① 午前の部、10:00~12:00 ② 午後の部、13:30~15:30

令和4年

4月9日/17日、5月14日/22日、6月11日/19日、

7月2日/10日、8月20日/28日、9月10日/18日、

10月8日/16日、11月12日/20日、12月10日/18日、

令和5年

1月14日/22日、2月11日/19日、3月11日/19日

(事業の対象者) 一般市民(参加者合計:506名 昨年度は446名)

(収 益) なし(参加費無料)

(費 用) なし

##### (2) (事業名) 団体般見学会

(内 容) 10名以上の団体を対象とする見学会。一般見学会の内容をベースに各団体の希望に応じて内容や所要時間等をカスタマイズして実施した。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 随時受付。開催合計23回(昨年度は14回)

主に10:00~16:00の間で約2時間実施。

令和4年

5月19日/28日、6月10日/24日、7月16日、

9月17日/19日/24日、10月14日/22日、

11月13日/16日/27日、12月4日/13日、

令和5年

1月15日/20日、2月12日/26日、3月5日/21日/22日/23日

(事業の対象者) 10名以上の一般市民(参加者合計は377名 昨年度は291名)

(収 益) なし(参加費無料)

(費 用) なし

##### (3) (事業名) ペットボトル地震計講座

(内 容) 小学生を対象にした地震学と工作の講座で、地震計の仕組みを勉強し、ペットボトルを使って簡易な地震計を作る。学校では体験できないような学習の場を提供し、子どもの学習意欲の向上を図る。今年度は4か所で開催し合計98組が参加(昨年度は78組)され、夏休みの自由研究にも貢献することができた。

(実施場所) ①阿武山観測所 ②高槻市立自然博物館 ③高槻市立総合市民交流センター ④人と防災未来センター

(実施日時) ①阿武山観測所(高槻市)7月23日/24日  
主催:京都大学阿武山観測所 ①10:00~12:00 ②13:30~15:30  
(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)参加者合計は12組。  
(収益) なし(参加費無料)  
(費用) 6,264円(材料費)

(実施日時) ②高槻市立自然博物館(あくあびあ芥川)7月30日  
主催:あくあびあ芥川 ①10:00~12:00 ②13:30~15:30  
(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)参加者合計は12組。  
(収益) 8,000円  
(費用) 2,000円(運搬費)

(実施日時) ③高槻市立総合市民交流センター(クロスパル高槻)7月31日  
主催:高槻市みらい創生室 ①10:15~12:00 ②14:00~15:45  
(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)参加者合計は29組。  
(収益) 59,500円  
(費用) 2,000円(運搬費)

(実施日時) ④人と防災未来センター(神戸市)8月5日/6日/7日  
主催:人と防災未来センター ①10:00~12:00 ②13:30~15:30  
(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)参加者合計は45組。  
(収益) 121,500円(講習料/33,000円、3日分)  
(参加費・資料代/22,500円:1名500円×45組)  
(費用) 36,440円(講師等11名の交通費/27,200円、運搬費/9,240円)

(4) (事業名) 出前講座(防災講演会) テーマ「いつか起こるは今日かも知れない」  
(内容) 地震や防災に関する一般向けの講演会。我々を取り巻く地震環境についての講演会で、南海トラフ地震を中心に今後予想される大地震にどのように備えるか、政府発表の臨時情報等も取り入れた解説などを行う。また、身近で起こった大阪府北部地震などについても解説し、地震防災についての心構えなどの関心を深めることができた。

(事業の対象者) 開催地域近隣在住の受講希望者。  
(実施場所) 北清水公民館(高槻市) 参加者28名  
(実施日時) 9月21日 10:00~12:00  
(収益) 6,000円 (費用) なし  
(実施場所) 大和ネオポリス自治会 参加者25名  
(実施日時) 1月15日 13:00~15:00  
(収益) 10,000円 (費用) なし

(5) (事業名) 出前講座(ネット講演会) テーマ「いつか起こるは今日かも知れない」

(内容) 一般社団法人キャリアデザインアプローチ様主催の講演で、出前講座で行っている防災講演会の内容に、新たに障がい者や高齢者など避難行動要支援者の災害時対応を加えた講義をオンライン形式で行い、個人のみならず介護施設勤務の方々など多くの人に聴講いただけた。  
(実施場所) 阿武山観測所からインターネット(Zoom)で発信  
(実施日時) 10月15日 10:00~12:00

(事業の対象者) 個人、介護施設や一般企業などの受講希望者。合計 18 か所。

(収 益) 10,000 円 (聴講者は無料) (費 用) なし

(6) (事業名) 公開講座 (新まんでんてらこや)

テーマ:「近畿の主要活断層と長期評価」

(内 容) 南海トラフの巨大地震の前に活発化する内陸の地震活動。我々の直下にある活断層について、基礎的な事柄から特徴、近畿や全国 110 の主要活断層の特質と長期評価、今後の課題などについて質疑応答も交えた、一般市民にも非常にわかり易い内容の講演をしていただいた。

講師:立命館大学客員研究員・京都大学名誉教授 岡田 篤正氏。

(実施場所) 阿武山観測所での対面講義とオンラインのハイブリッド方式開催

(実施日時) 令和4年8月10日 10:00~11:30

(事業の対象者) 一般市民/当NPO会員

(収 益) 12,308 円 (参加費一般 500 円/対面 16 名、オンライン 11 名計 27 名  
当NPO会員は無料/対面 13 名、オンライン 7 名計 20 名)

(費 用) チラシ印刷代、送料 19,950 円

(7) (事業名) 桜島火山観測所見学会向けコンテンツ作成

(内 容) 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科からの委託により、当NPOが阿武山観測所で行っている見学会のノウハウを元に、新たに桜島火山観測所のハルタ山観測所での見学会用コンテンツの企画、作成を行い桜島火山観測所に納期内に納品した。

(実施場所) 阿武山観測所および桜島火山観測所ハルタ山観測所

(実施時期) 令和4年9月~令和5年3月

(事業の対象者) 桜島火山観測所

(収 益) 577,260 円 (見学会用コンテンツ製作)

(費 用) 247,980 円 (出張費/現地1泊ヒアリング調査3名×2回)  
71,730 円 (展示用パネル製作費等)

(8) (事業名) 阿武山観測所の環境整備活動

(内 容) 阿武山グリーンクラブが中心となり、約 10 万平方メートルに及ぶ広大な観測所敷地内の樹木の伐採や草刈り、落ち葉処理や植栽など訪問者や周辺住民の安全かつ快適な環境作りに努める。また、樹木の名前プレート設置など、自然観察ツアーの補助も行った。

(実施場所) 阿武山観測所構内

(実施日時) 毎月・金曜日

(事業の対象者) 見学者及び地域住民

(収 益) なし

(費 用) なし

(9) (事業名) セミナー開催支援事業

(内 容) 阿武山観測所の2つの会議室や宿泊施設を活用したセミナーや宿泊研修会など、各種イベント開催を支援する。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 随時

(事業の対象者) 一般市民および当法人会員

(収 益) なし (今期は使用申込無し)

(費 用) なし

(10) (事業名) 教育関係者の研修、教育教材開発の支援事業

(内 容) 歴史地震研究会の巡検で、飯尾能久理事長による特別講演や、サポーターによる地震計案内ツアーを開催するなどの研修支援を行った。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 9月19日

(事業の対象者) 関西大学社会安全学部 林先生 他20名

(収 益) 29,500円

(費 用) なし

(11) (事業名) 第2回 阿武山観測所と阿武山周辺の写真コンテスト

(学術、教育、文化・芸術の支援事業)

(内 容) 阿武山観測所や阿武山周辺を含む北摂地域で撮影された四季折々の写真を一般公募して多くの応募があった。入賞者には賞金や記念品を贈呈。また作品は当法人のホームページに掲載した。また日本風景写真協会京都支部長に審査のご協力をいただいた。今後も文化・芸術活動など、幅広いイベントを通して当法人の活動PRを行い、新規会員の獲得につなげていきたい。

(実施場所) 阿武山観測所及び北摂地域

(実施日時) 令和4年9月1日～12月31日(応募期間)

(事業の対象者) 一般市民及び当NPO会員(全国から46点の作品応募)

(収 益) なし(応募料は無料)

(費 用) 32,660円(賞金:大賞1名10,000円、準大賞2名各5,000円、入選者5名の記念品送料2,660円、審査費10,000円)

2 その他の事業

(1) (事業名) 書籍販売(地震・防災に関連する資材や物資の紹介と販売事業)

(内 容) 「阿武山観測所ガイドブック」の販売。

地震学と阿武山観測所の歴史や保存展示している歴代地震観測機器の解説。また、昭和初期の歴史的な建築物や周辺の自然や眺望なども紹介した冊子。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 見学会や講演会等イベント実施日

(事業の対象者) イベント参加者

(収 益) 175,000円(1冊:500円、販売実績 第1刷280部、第2刷70部)

(費 用) 47,970円(第2刷500部印刷費)

IV 課題および特記事項

(1) 課題

- ① 会員数増を計画したが、積極的かつ効果的な勧誘活動ができず、結果会員総数は56名で前年度と比較して会員数は9名増のみと微増の結果に終わった。新年度から当法人が京都大学から阿武山観測所のサイエンスミュージアムとしての運営を有償で委託されることになり、円滑な運営を行っていくためにも会員数を増やす施策が急務である。
- ② 上記に伴い、今後委託業務を遂行するためのNPO事務局側の作業負担が増えることが予見され、対象となる事務局員やそれをサポートする阿武山サポーター員に活動結果に応じた報酬を、事業費の人件費として支払うことも検討する必

要がある。但し NPO 法人がその社員やアルバイトに報酬を支払う場合、事前に就業規則を作成し雇用契約を結び労災保険等に参加するなどの手続きが必要となる。また適切な報酬額をいくりに設定するかも要検討課題である。

- ③ 当法人の下支えする阿武山サポーター会のボランティア活動参加者の高齢化等が進み減少傾向にあり、さらに今年度新規参加者が 2 名あったが受け入れ体制が不十分で活動継続に至らず、この現状が続くと見学会等の運営にも支障をきたす恐れがある。そのためサポーターを適切に受け入れ適切な教育を施すための体制を作った上で、市の広報誌などを利用して新規募集を行う必要がある。
- ④ 団体見学会は参加費無料で受付けているが、団体の中には有料の催しの中に当団体見学会を組み込む例（例えば有料の阿武山古墳探訪ツアーの一環で阿武山観測所の見学も含めるなど）があり、こういった場合は申し込み受付時に団体主催者側と見学有料化を交渉できる料金体系を整える必要がある。

(2) 特記事項

当法人設立時から理事並びに事務局長として幅広く活動された杖本富夫氏が去る 2023 年 3 月 7 日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

以 上